

平成 24 年度第 2 回北区まちづくり協議会 意見交換概要（発表メモより）

メンバー

< A グループ >

梅香鉄西会長、大門麻生会長、畠日赤奉仕団北区分団長、小泉北区商店街協議会会長、喜多子育て支援ワーカーズプチトマト理事、記内クリーンさっぽろ衛生推進協議会会長、岡内マンション管理組合北地区協議会会長
矢萩鉄西所長、山口職員

< B グループ >

永野幌北会長、山口新川会長、佐藤篠路副会長、中島保護司会会長、石井食生活改善推進員協議会会長、大石青少年育成委員会連絡協議会議長、星野老人クラブ連合会会長、梅香交通安全母の会会長
住友幌北所長、鈴木職員

< C グループ >

宇野北会長、岩倉太平百合が原会長、松井拓北・あいの里会長、橋本鉄西第 16 町内会会長（鉄西 C ネット）、吉川更生保護女性会会長、堂前社会福祉協議会事務局長、佐藤子ども会連絡協議会会長、金森北消防団団長

< D グループ >

久間新琴似会長、川嶋屯田副会長、伊藤新琴似西会長、小鍛冶健康づくり協議会副会長、加藤民生児童委員協議会会長、高橋防火委員会会長、梶浦幌北地区社協会長（幌北 C ネット）、森災害防止協力会会長

1 問題

< A グループ >

- ・大勢の避難者が集まり混乱する
- ・避難場所に女性に必要なもの（ミルク、おむつ、生理用品）がない
- ・学校（避難所）との連携が出来ていない地域もある
- ・避難場所にどれだけ入れるのか分からない

< B グループ >

- ・避難所に集まって来た人すべてを収容しきれない場合もある
- ・避難所の単位が学区であると町内会がまたがり、見知らぬ人が来る場合もある
- ・家族の安否が心配になる
- ・食糧が無い（家から物資が取り出せないかもしれない）
- ・マンションでは行政が対応してくれるものと思っている
- ・寒さ対策

< Cグループ >

- ・トイレ（特に女性）の問題
- ・寒さ
- ・無秩序になる
- ・水、食料の確保
- ・救急車はすぐにはこない
- ・避難場所に入ることができない

< Dグループ >

- ・避難場所まで行くことが問題
避難場所がわからない
- ・水、食料の確保
- ・避難の開始はいつ、誰が判断しどのように伝わるのかわからない

（類似意見）

- ・避難所に大勢の人が集まってきて混乱する（A、B）
- ・避難場所（学校）との連携ができていない（A、C）
- ・水、食料の確保（B、C、D）

2 どのように対応するか

< Aグループ >

- ・リーダーの育成
- ・女性のリーダーが必要
- ・指定避難所以外に小さな避難所を地域独自で確保しておく
- ・指定避難所を拠点として一時避難場所に物資を届けるシステムが必要
- ・顔の見える関係を築いておく
- ・指定避難場所にどれだけ収容できるのかを確認しておく
- ・指定避難場所以外の場所にも避難できるよう、独自に協定を結んでおく
- ・食糧、水を3日間分準備

< Bグループ >

- ・リーダーを決めておく
- ・現状を踏まえてのリーダー研修を行政が行う
- ・夏、冬のそれぞれに応じた避難場所を決めておく
- ・話し合って組織を作っておくことが必要
- ・避難所生活のリスクを広報で周知しておく
- ・収容先の拡大（私立高校等への働きかけ）
- ・避難経路の事前確認
- ・避難場所を家族で決めておく

- ・避難場所へ行けない場合はどうするのかを決めておく
- ・日頃の情報共有
- ・単位町内会間の連携
- ・町内会活動への理解促進
- ・市の備蓄状況を把握したうえで地域としての備蓄を考える
- ・避難場所訓練の実施
- ・ホテル、スーパーなどへ予め協力を要請

< Cグループ >

- ・リーダーをあらかじめ決めておく
- ・避難所（学校）に入るためあらかじめ割って入る場所を決めておく
- ・地域と行政の連携体系の整理
- ・訓練のシミュレーション、経験を重ねる
- ・緊急時に対応できるよう町内の人材を把握しておく
- ・地域のスーパーやコンビニと町内会との連携
- ・地域の市職員の活用、組織化
- ・行政の強いリーダーシップ
- ・定期的な情報提供
- ・避難所となる学校の意識改革

< Dグループ >

- ・避難場所を市がしっかり指定し広く知らせる
- ・単町単位の防災マップではなく、避難所を中心としたもっと広い範囲のマップが必要
- ・防災マップは全額行政が負担
- ・福祉マップ、防災マップを一緒にする
- ・高いビルやマンションなどと事前に協定を結んでおく
- ・食糧や着替えなどは自分で用意しておく

（類似意見）

- ・リーダーの養成、研修（ A、 B、 C ）
- ・リーダーをあらかじめ地域で決めておく（ B、 C ）
- ・避難経路、避難場所の再確認（ A、 B、 C ）
- ・避難先、物資支援に関し独自に協定を結ぶ（ A、 B、 C、 D ）
- ・地域での日頃からの関係づくりが大切（ A、 B、 C ）